

# 日本経済新聞

夕刊  
2月3日  
月曜日

発行所 日本経済新聞社  
東京本社 〒100-8388 ③3270-6251  
東京部 〒140-8589 ③66843-7111  
大阪本社 〒540-8589 ③66843-7111  
大阪市中央区大手前 1-1-1  
名古屋支社 〒460-8388 ③52243-3311  
名古屋市中区栄4-16-33  
西蔵支社 〒82-0566 ③2473-3300  
福岡支社 〒815-8585 ③2473-3300

## 古代米生産者

なみしめるより強い穀物の味がする。焼、赤、黒の古米。三米は白米にない栄養素を多く含み、イネのルーツだ。吉野や黒瀬跡に近い佐賀県江北町の穀倉地帯で、この幻のロメの栽培を十年近く続けてきた。

伝統食の郷土や食生活の異質性を掘り出し、イタリアの非産地産穀(ノストロ)・スローフード協会の審査員特別賞を受賞。アジアで初めて表彰した。「スローフード」なんて言葉は知らなかった。さっさとした食べ物を作らなくてよかった。

## 人ニッポン

たけとみ かつひこ  
武 勝彦氏 (57歳)



スローフード? ちゃんとした食べ物を作るうとしたただけ。

校教師の進歩を歩んだ。折しに渡りて大り続け、三十八年まに苦しんでいた。も高麗成長期。初めて由合 歳のころ、野んで足を折った。ライオンスタント食器の外食だ。肝臓腫瘍もめまの。Y 師匠に言われた。目録書の

しに磨き切ったんです」。を指摘す時代が、愛人の進取の情より有機農法で米作を始めた。あつと、本家にはわかる古文書にあった古米のつくりの記述を思い出し、あつとこれだつた。栽培は、わすか三年粒のモミから始めた。やがて教師を辞めて専業農家に。「あの愛人が」との陰口をきき流し、農業復興に力を入れてきた土壌の改良に力をこめて、周辺に自生する雑草(マダ)を堆肥(たいひ)にする仕事を始めた。「農業を愛するにはまず土から」が信念だ。使った捨てた社会からの脱却

を指摘す時代が、愛人の進取の情より有機農法で米作を始めた。あつと、本家にはわかる古文書にあった古米のつくりの記述を思い出し、あつとこれだつた。栽培は、わすか三年粒のモミから始めた。やがて教師を辞めて専業農家に。「あの愛人が」との陰口をきき流し、農業復興に力を入れてきた土壌の改良に力をこめて、周辺に自生する雑草(マダ)を堆肥(たいひ)にする仕事を始めた。「農業を愛するにはまず土から」が信念だ。使った捨てた社会からの脱却

写真 黒坂道伸  
又 大島三穂